

RAPTOR®

<http://raptorjapan.com>



塗装前(写真上)の足付け作業が塗装の品質と耐久性を決める。とくにランドクルーザーシリーズは、メッキの被膜が硬いため、根気よく時間をかけてしっかりと表面を荒らしていく。この状態になってからラプターライナーを塗布すると、写真のように粒立った仕上がりとなる。

トライズオート×ラプターライナー×ブレインストームが協力関係を樹立

高耐久次世代塗料 ラプターライナーを カスタマイズに応用

最新カスタムシーンでメジャーになってきた塗装面がザラザラとしたチッピング塗装。そのひとつであるラプターライナーは高い硬度や耐候性そして調色ができることが特徴。そんなラプターライナーの正規施工店であるトライズオートとカスタマイズの老舗ブレインストームが手を組んだ！

● 取付店: トライズオート (<https://www.titze.co.jp>)
● 取付店: ブレインストーム (<https://www.brainstorm.jp>)
● 取付店: カースター (<http://www.carsstar.net/>)

ラプターライナー塗装を利用して愛車の魅力と個性を高める。

優れた特性とカッコいい表情を愛車に与える塗料。オリンナル調色で純生カラーにラインナップされていない色に塗装するカスタムヘイントやオイルヘイントは、カスタマイズシーンにおいて欠かせない存在となっている。色で個性を表現することとはもちろん、その車輛のコンセプトを決定づける重要なポイントでもある。そんな中、注目を浴びているのが、ハードな使用に絶え入る耐衝撃性持つ耐光性に優れた防護塗料、ラプターライナーである。ラプターライナーは粒状の凹凸ビブレット製のゴム質の様な特殊塗料を、さらに進化させた次世代塗料と言ったポジションにある。粒の大きさを粗くも細かくもできるし、マット塗料ほど完全に艶無でもなく逆に極艶でもない。ほどよい半ツヤ感と絶妙なクッション性は、まるでラバーマットを足踏いたような感じ。それでいてレジュアルはハードボイルドでワックススタイルにも映える見栄えの良さ。耐久性の持続力も高く、色褪せもほとんどなく傷も目立たないレベルである。つまり、ラプターライナーは、4WD・SUVのカスタマイズにぴったりの塗料、というわけである。

さて、それがトライズオートとブレインストームの強力タッグによって、もっと身近に、もっと手軽にオーダーできるようになったのだ。

トライズオート

ラプターライナー

ブレインストーム

ブレインストームと“強カタッグ”カスタマイズシーンを盛り上げる

高い塗装技術を駆使してラプターライナーを自在に操る

板金塗装業を20年以上にわたり展開しているトライズオート。その高い技術力を求めて自動車ディーラーからのオーダーが絶えない。トライズオートは、ラプターライナーを知り尽くす正規施工店としての顔を持つ。



TRIZE AUTO

●住所:奈良県奈良市横井5丁目397-1
●電話:0742-81-9528
●URL:https://www.trize.co.jp

タフな仕上がりで愛車を守る次世代塗料ラプターライナー

イギリス生まれの特殊な塗料として注目を集めているラプターライナー。仕上がりがザラザラとした質感なので、とくに4WD-SUVのスタイルアップに最適。塗布箇所を選ばないのでもンペタンでも、オールペイントでも楽しめる。



●URL:https://raptorjapan.com

豊富なノウハウと高いセンスでカスタマイズを提案する

国内外の4WD-SUVのカスタムを手がけるプロショップ。スタイルアップだけではなく、実用性や安全面にも踏み込んだグレードアップも提案してくれるので、カスタマイズ初心者からベテランまで頼れるお店だ。



BrainStorm

●住所:奈良市北之庄西町1丁目7-9
●電話:0742-50-6788
●URL:https://www.brainstorm.jp/

ワンストップで塗装まで完了するお手軽さ

協力関係にあるブレインストームとはクルマで10分ほどの距離にある。2社がタッグを組むことで、ランドクルーザーシリーズとラプターライナーの塗装の距離が縮まった。窓口がブレインストームに一元化されるので、カスタマイズについてラプターライナー塗装をお願いすることも可能になる。利用者にとって最大のメリットはワンストップで全てが完結することにある。極端な話ではあるが、直接、トライズオートに相談しなくても、同社の高い技術で施工されたラプターライナー塗装が手に入る。ちなみに、トライズオートは、ラプターライナーとも綿密に情報共有を行なっている。常に最新の施工が約束されている。トライズオートとブレインストームの強カタッグ、恐るべしである。



ラプターライナーは、粒度ツヤ感色を自在に調整できる。サンブルを見ながら検討できるので、完成形がイメージしやすい。



ラグジュアリーな装いでハイグレード志向のZXをベースに、オフロード色を高めてワイルド方向へと誘うべくラプターライナーで塗り分け施工。グリル部分はクローム部分を散らせて残しつつ表情を引き締める。

メッキパーツをすべてラプターライナーで塗装。できる限りタフなイメージを弱めるために粒立ちを抑え気味に調整してある。見事に純正としたグリルが完成した。

世界でただ一台のクルマに仕上げるために

トライズオートがラプターライナーを施工する際に大切にしているのは、世界で1台しかない、自分のためのラプターライナー仕様、のお手頃。純正とした仕上がりにすることも、調色可能なサンブルを駆使して好みのカラーとすることも、ラプターライナーの堅牢性に着目しエッジを立てて滑り止めとすることも、トライズオートなら実現可能なのである。それはまるでオーダーメイドのスーツのように、職人の手により仕立てられている。

ラプターライナーを施工した上にクリアを塗装したものは、肌目の変化を見るための実験。こうした研究も日々行なわれている

ラプターライナーの防傷や質感をキープしながら塗料を混ぜて好みの色にすることも可能となる。



作業手順

①しっかり汚れを落とす②足付け。機械だけでなく必要に応じて手を使って表面を荒らす。③足付けと脱脂が完了。メッキの被膜が硬く作業に時間が必要となる。同社ではここまで徹底した足付けを行なう。④トライズオートでは一度プライマーを入れてラプターライナーの密着性を高める。⑤ラプターライナーの塗布は、専用が開発したガンで行なう。吐出量の調整で塗装面が変化する。⑥完成。希望は「全てのメッキパーツにラプターライナーを塗布。純正とした自然な仕上がりに」であったが、見事にオーダー通りの仕上がりとした。まるでカタログモデルの様。

メッキパーツのすべてにラプターライナーを塗布する

ラプターライナーの塗装手順を簡単に説明すると、1足付け、2脱脂、3プライマー、そしてラプターライナーの塗装の4工程となる。



TRIZE AUTOのお仕事 肌感への追求が画期的な仕上がりを生む!

トライズオート代表 木村 祐
奈良県を中心に自動車ディーラー、メーカーが仕事を依頼する板金・塗装のプロフェッショナル。ラプターライナーに精通しており、オリジナルの専用ガンで巧みに塗布具合を操る。その仕上がりは推して知るべし。

ラプターライナー塗装で重要なのは肌の仕上がりに。奈良県奈良市にファクトリーを構えるトライズオート。ここは20年以上にわたり板金・塗装を生業としており、自動車ディーラーやプロショップが頼りにする高い技術力を持ったお店である。同社では、塗装技術を生かしてラプターライナーの施工を行なっている。ラプターライナーの正規代理店。ラプターライナーは一般的な自動車用塗料と異なり、ザラザラとした塗装面と硬い塗膜が特徴。作業自体は自動車用塗料の扱いと基本は変わらないがラプターライナーを施工するには専用の工具と、それ

日本国内の輸入総代理店ラプターライナージャパンによれば、塗装プロフェッショナルでなくても施工はできること。とくに具合に、ラプターライナーは身近な存在であったりするが、他の塗料同様、完璧な仕上がりを求めるならばプロにお任せするのが得策である。写真はプロフェッショナルの道具からDIY向け商品までを集めたもの。



れを操る職人技の持ち主が必要となる。代表の木村さんは、ラプターライナーの特性に魅せられ、通常の板金塗装業務に動かし、もって理想的な塗り分けを追求してきたラプターライナーマスタースタッフである。余談ではあるが、粒度を落としてツヤ感も少し出したいとか、逆に粒度を上げて、マットに仕上げたい、といったオーダーも可能なので、ドレスアップに取り入れたいと思ったら、同社に連絡してみよう。